

## 下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	火	★	★	★	◆	◆	◆
3	木	★	★	◆	◆	◆	◆
4	金	★	★	★	★	★	◆
7	月	★	★	★	◆	◆	◆
8	火	★	★	★	◆	◆	◆
9	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
10	木	★	★	◆	◆	◆	◆
11	金	★	★	★	★	★	◆
14	月	★	★	★	◆	◆	◆
15	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
16	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
17	木	★	★	◆	◆	◆	◆
18	金	★	★	★	★	★	◆
21	月	★	★	★	★	★	★
22	火	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
23	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
24	木	★	★	◆	◆	◆	◆
25	金	★	★	★	★	★	◆
28	月	★	★	★	◆	◆	◆
29	火	★	★	★	◆	◆	◆
30	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05

連絡用のメールアドレスです。ky-ekodaes@city.yokohama.jp

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

	5校時		6校時	
給食当番	14:05	★	14:50	◆
掃除当番	14:30		15:05	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

## 予定表並びに下校予定時間について

感染症に関して、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等が発令されることがあった場合、予定していた行事を延期せざるを得なかったり、下校時刻が変更しなければならぬことが考えられます。

予定の変更、下校時刻の変更については、ミマモルメを通して行きます。ご承知おきください。

尾山教諭が産休に入ります。産休代替として、竹内 麻衣子教諭が、新しく荏子田小学校に着任しました。

竹内 麻衣子教諭は、尾山教諭の代わりにまなび級の担任になります。よろしくお願いいたします。



# 学校だより 6月



荏子田小学校

令和3年5月31日

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/

月	火	水	木	金	土	日
	1 カウンセラー来校 全日 出前授業 6年	2 開港記念日	3	4 朝会 心臓検診1年	5	6
7 朝読書 避難訓練	8	9	10 内科検診1・2・4年 まなび	11	12	13
14 尿2次検査配布 5年箱根宿泊体験学習 説明会	15 尿2次検査回収 クラブ	16 キッズ会議 体カテスト 音楽集会 5年	17 体カテスト カウンセラー来校 午後	18 体カテスト予備日	19	20
21 児童朝会 色覚検査 4年希望者 リーダー会議	22 委員会 フレンドチーム	23	24 内科検診3・5・6年 国際平和スピーチ コンテスト 6年 カウンセラー来校 午前	25	26	27
28 集会 SSW来校日 全日	29 6年鎌倉宿泊体験 学習保護者説明会 学校保健委員会 カウンセラー来校 午後	30	1	2	3	4

## 7月の主な予定

- 1日(木) 5年宿泊体験学習 箱根
- 2日(金) 5年宿泊体験学習 箱根
- 8日(木) フレンドお楽しみ会  
音楽集会6年

- 19日(月) 給食終了
- 21日(水) 夏季休業
- 8月27日(金) 授業再開

2年・3年・4年・6年の予定されていた行事は現在実施日を検討中です。実施日が決まり次第お知らせいたします。

今年度の音楽は感染症予防を考慮しながら進めています。音楽集会については、クラスごとに合唱合奏に取り組んだ成果を発表する場とします。また、音楽集会は、クラスの音楽の時間に録画したものを全校で鑑賞するようにしていきます。

## 5月のある風景から～遊びからまなぶ～

休み時間の校庭には、それぞれ好きなことで遊んでいる子どもたちの姿があります。

フラフープを2つ同時に回して得意げなRさん。  
うんていが昨日よりも1つ前に進めて嬉しそうなMさん。  
ドッジボールで当てられないように必死に逃げるNさん。  
一方でボールをキャッチしようと勇ましく向かっていくDさん。  
「先生、見て見て！」と鉄棒でだるま回りをぐるんぐるん回っているのを見せてくれるSさん。  
その後ろでは、鬼に見つからないように気配を消して木の陰に隠れているAさん。

そんな子どもたちの姿を毎日見ていると、変化していくことがあることに気が付きます。  
―手を放して一輪車に乗れるようになった  
―鬼ごっこで鬼から逃げ切れるようになった  
―連続逆上がりが2回できるようになった  
など、技能面での成長です。できるようになった時の嬉し

そうな笑顔はどの子もすてきです。その瞬間に立ち会えた私も嬉しい気持ちになります。



5月になって、1年生の外遊びも始まりました。「幼稚園、保育園よりも高いよ！」と言いながらジャングルジムに登ったり、お兄さんお姉さんの真似をして鉄棒にぶら下がったり、みんなで鬼を決めて鬼ごっこをしたりとチャイムが鳴るまで思い切り遊んでいます。

子どもは、授業を通しての成長はもちもん、遊びからも多くを学び成長していきます。  
今日も、校庭は子どもたちの笑顔と歓声でいっぱいです。

・・・あ、あそこにしょんぼりして座っているのはOさん。どうしたのかな。  
時には笑顔になれないこともあります。  
その話はまた来月に。

児童支援専任 塚本裕美

## いろいろな植物を育てています

5月になり、生活科や理科での取り組みも多くなっています。1年生はアサガオの種を観察し、自分の植木鉢にアサガオの種をまきました。そのアサガオも暖かい5月のおかげで、順調に双葉を広げています。以前は、夏休みに入ってから咲いていたアサガオも近年では、7月に入る頃にはしっかりと花を咲かせていることが多くなった気がします。今年のアサガオはどうでしょう。1年生の子どもたちと一緒に、アサガオを見ていきたいと思います。

2年生も、ミニトマト、ピーマン、ナスを選び、一人一人が大切に育てています。夏休み前には、大きく育った野菜を収穫できるのではないかと思います。収穫できるようになるまで、植物がどのように成長していくかも、しっかりと観察してほしいと思います。

## プレハブ校舎撤去

昨年度まで校舎の一部として利用していたプレハブ校舎ですが、解体することになりました。2棟のプレハブ校舎ですが、思っていた以上に大きく、日々解体作業が進むにつれ、今までとは違った光景が見えるようになってきました。2か月かけ、校舎部分の撤去は大方が終わろうとしています。この後は、基礎部分を撤去し、校庭の一部として活用できるようになります。

プレハブ校舎を撤去した後、現在B棟の2階にある防災備蓄庫をプレハブ校舎のあった周辺部分に作ります。また、11月から校庭整備が行われる予定です。校庭整備の中で、現在のプレハブ校舎の跡地も整備されていきます。学年単位で植物を育てることができる部分とバスケットボールの練習ができるよう、現在校庭の南側に設置しているバスケットボールのゴールを移動する予定です。



## 1年生遠足

1年生が虹ヶ丘公園に遠足に行きました。他の学年がまん延防止等重点措置が出ているために実施を見送っていましたが、1年生は徒歩での遠足ということで、実施いたしました。5月上旬としては、だいぶ暑い中、虹ヶ丘公園まで交通ルールを守りながら、歩きました。公園に行ってから、みんなでミッションラリーを楽しんだり、虫を探したりして過ごしました。

感染防止のため、お弁当は、一人一人離れて食べました。感染状況が収まらず、なかなか、考えているように進めることが難しい現実を感じています。帰ってくると、「暑かった」という声を上げ、嬉しそうにしている1年生でした。初めてのイベントが楽しいものになり、良かったと思いました。



## 体力をつけよう

コロナ禍で、一番子どもたちがダメージを受けたのが、運動量の低下ではないでしょうか。体育でも、ボールゲームなど、運動量が多いものを、感染しないための安全な動きに変えざる得なかったため、運動量が低下しています。

そこで、少しでも子どもたちの運動量を高めようと、縄跳びに取り組むことにしました。いろいろな跳び方で、1分間跳び続けることができることを目的に、縄跳び運動に取り組んでいます。

## あたりまえのことですが…

子どもたちを褒めることが大切だということは、誰もが分かっていることだと思います。ですが、褒めることよりも叱ることの方が多くと感じている人も多くいるような気がします。

子どもたちが行動すると、何かと問題が起きることがあります。話を聞いて、聞いたことをもとに行動するというのは、学校での基本的なパターンだと思います。しかし、この基本的なパターンにはいくつもの落とし穴があります。話を理解していない場合もありますし、話を聞いていたけれど、いくつもの指示が含まれていたもので、忘れてしまうこともあるでしょう。また、話は分かったのだけれども、他のことに気を取られてしまうこともあるでしょう。話を聞く段階まではできていた子どもが全員正しい行動をするとは限りません。いろいろな要因によって、行動する段階で、躓くことがあると思います。それぞれ何か理由はあるのですが、それでも「できなかった」という理由で叱られてしまうことが多くあると思います。子どもにすれば、「できなかった」＝「叱られる」という構図がここで出来上がります。しかし、このプロセスの中でも、子どもたちができていたことがあるはずなのです。話を聞く段階では、しっかり話を聞くことができたかもしれません。話を聞いて忘れてしまうことがあっても、友達の行動を見て、思い出すことができていたかもしれません。行動を開始することはできていたかもしれません。

それぞれの段階を見ていると、子どもたちが「できていたこと」は、たくさんあると思います。褒めることはたく

さんあるのですが、それを継続して行うことは難しいかもしれせん。また、「結果」を出すことばかりに注目してしまうと、必ずしも褒めることができるとは限りません。また、褒めるために、人と人を比較することが多くなってしまふ傾向も出てくるでしょう。誰よりも、よい状態を作ることができないと褒められないのであれば、なかなか褒められることはなくなってくるでしょう。

それよりも、少しでもできたことを褒めることが大切だと思います。ちょっとお手伝いをしてくれただけで「ありがとう」と伝えると、子どもは、「こうすれば、ありがとうと言われる」と感じます。そうすれば、次の時も、同じような行動をとると思います。「良い姿勢だ」と褒められると、さらに良い姿勢をとろうとする子どもが大半です。褒められるというのは、子どもたちにとって、どうすればよいのかの行動の基準を作ることにつながっていくと思います。叱られることから行動基準を作ることは「～をしない」という基準の作り方になりますが、褒められたときにできる行動基準は「～をしてみよう」という基準の作り方になります。

褒めて育てるといわれて、かなり経っているような気がします。しかし、必ずしも褒めることが大切にされていないような気がします。自戒を込めて、もっと子どもたちを褒めていこうと思います。もし、少しでも心当たりがあれば…。

これからも、みんなで子どもたちをたくさん褒めていきましょう。  
(青木 勇)